

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
				美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西粟倉村		美咲町		
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	・流下能力対策(堆積土の掘削や樹木の伐採) ・堤防や拡幅等の整備 ・家状などが確認された箇所での適切な修繕	実施状況															
			今後の予定															
	■危機管理型ハード対策	・堤防天端の保護 ・堤防裏法原の補強	実施状況															
			今後の予定															
	■避難行動・水防活動・排水活動に資する基盤等の整備	・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	雨量計10台、河川監視カメラ19台	R1年度									雨量計増設・河川監視カメラ設置雨量計・河川監視カメラシステム更新と公開 河川監視カメラ赤外線照射装置設置・温度計設置および温度情報公開	R3年度 R4年度			
			今後の予定	継続実施	継続実施										当面の増設等の予定はなし	未定		
	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況	実施済み	H30年度	実施済み	H28年度			防災行政無線デジタル化施工済 移動系無線機(デジタル簡易無線機)の増台(20台→32台) 移動系無線機(デジタル簡易無線機)の増台(32台→48台)	H29年度 R3年度 R5年度	防災行政無線に加え、光電話による情報周知を運用中 防災行政無線機の故障対応	R2年度	防災行政無線が抱っていた機能をFM告知放送へ移行 ラジオ機能を持ったFM告知機を全戸設置	～R3年度	IP告知無線機の機器更新実施 町全体の100%実施済	～R2年度		
		今後の予定	継続実施		継続実施	電波が不安定な地区に対して、IP電話などを配布する	継続実施		防災行政無線機の追加設置・故障対応	継続実施	防災行政無線機の故障対応	継続実施	FM告知機の追加設置・故障対応	継続	町内告知放送設備(FM告知)の設置	継続実施		
	・重要水防箇所の見直し	実施状況																
		今後の予定																
	・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	消防施設整備や、自主防災活動の補助金 可搬式排水ポンプの整備	～R2年度	和気町備蓄計画Jに基づき、水防資材の購入・配備	H30年度	自助を推進するための非常時持出袋を1世帯1個配布 計画的整備 資機材の補助	R5年度	資材確認実施 町長への土のう袋・真砂土の配布 土のう作業	R2年度 ～								
		今後の予定	継続実施	継続実施	目標数が揃うまで実施予定	継続実施	防災資機材の整備 自主防災組織に対する資機材の補助	継続実施	継続実施	継続実施								
	・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や雨量機、CCTVカメラの設置	実施状況	河川監視カメラ19台運用中	H21年度							運用中2箇所	R2年度 ～	町内に県管理のCCTVカメラ1カ所増設	R2年度			R元年度に河川カメラの更新、新設(更新10カ所、新設5カ所) カメラデータについては、みさきTVデータ放送で、静止画像、ライブ配信 美咲町HPでも情報提供	～R1年度
		今後の予定	継続実施	継続実施							継続	継続実施	継続	継続実施	継続	継続	継続実施	
	・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況																
		今後の予定																
	・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況																
		今後の予定																
	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	実施状況																
		今後の予定																
	・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況																
今後の予定																		
・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況															内水排水活動実施設備の設置 エンジン排水ポンプ 150mm 6基 100mm 6基	R3年度	
	今後の予定															一級河川 吉井川沿川での排水排水ポンプの設置3カ所、水防準備1カ所計画(下水道事業連携) 維持管理	R2～R4 継続実施	
・応急的な避難場所の確保	実施状況	未実施	R5年度			未実施	R4年度											
	今後の予定	未定	未定			未定	未定											

2)ソフト対策の主な取り組み (①浸り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み)																		
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																		
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、危険シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況	想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表済	H29年度															
	今後の予定	公表済	公表済															
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区域)	実施状況	洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系 13河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 5河川、その他 5河川) その他中小河川409河川の洪水浸水想定区域図を順次策定・公表済(吉井川水系 5河川、旭川水系 5河川、高梁川水系 5河川) その他中小河川409河川の洪水浸水想定区域図を順次策定・公表	～R4年度 ～R7年度															
	今後の予定	水害リスク情報の空白域を解消するため、令和7年度までにその中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・公表	R6年度 ～ 継続実施															
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況	幹事会で広域避難の協定事例を構成機関へ共有済	R2年度	作成に必要な情報の提供および策定を支援	H28年度	広域避難に関する協定のひな形作成し、市町村に提示している 令和6年度中に岡山県及び県内各市町村の災害時相互応援ガイドライン等の改定を行う	R1年度 ～	未実施	検討中	R5年度	未実施	R6年度	未実施	～R5年度 検討中	R1年度 ～			
	今後の予定	広域避難計画の作成、広域避難体制の構築に向けて、情報共有を実施	R4年度 ～	未定	継続実施	広域避難を検討する市町村に対し必要な情報提供を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	検討を継続	R6年度	未定	未定	未定	R6年度 ～	検討を継続	R6年度 ～		
・避難場所等の有効性の検証 や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまことまちごとハザードマップ整備	実施状況	赤磐市とハザードマップのL2作成について相談対応	R3年度			洪水予報河川等25河川の洪水浸水想定区域図を関係市町村に提供済 その他中小河川409河川の洪水浸水想定区域図を順次、関係市町村に提供済	～R6年度 ～R7年度		ハザードマップの更新及び配布 避難所に設置する標識に複数災害の対応状況を表す	H29年度 ～ R3年度	ハザードマップの更新・作成を予定	R5年度	R4年度において、印刷製本後、全戸に配布	R4年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備 ハザードマップの更新、指定緊急避難場所及び指定避難所について対象とする異常な事象や指定の重複、用途を整理	H29年度 ～ R1年度	検討中 ハザードマップを更新	R1年度 ～ R4年度
	今後の予定	自治体からの相談に継続対応	R4年度 ～			水害リスク情報の空白域を解消するため、令和7年度までにその中小河川の洪水浸水想定区域図を順次作成・提供	R6年度 ～ 継続実施	広域避難計画策定後、ハザードマップの作成を検討	継続実施	ハザードマップの配布を予定	R5年度	ハザードマップを活用した住民への周知	R5年度 ～	最新の各種災害リスクや防災情報をまとめた冊子タイプのハザードマップを全戸配布済み 広域避難計画策定を反映したハザードマップやまことまちごとハザードマップは未定	R2年度	検討を継続	継続実施	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	R3年度			対象施設毎の水害リスク(浸水深・浸水継続時間)を調査し、市町村等を通知して施設管理者等に情報提供するとともに、計画作成の講習会に参加を促した	H28年度 ～R6年度 ～R8年度	「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(4回)	～R6年度 避難確保計画の作成を促進 訓練の促進については要請があった場合にその都度対応	R4年度	対象となるよう配慮者利用施設に作成案内を実施 一部施設においては作成済み	R3年度	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援 避難確保計画の作成・提出を市内の対象全施設に文書にて依頼 対応の進捗が提出済	R5年度 H29年度 ～ R3年度	要配慮者施設における避難訓練を実施済み 避難確保計画の作成を促進 避難確保計画・避難訓練の実施状況調査	H30年度 R1年度 ～ R2年度		
	今後の予定	避難確保計画作成率向上に向け、協議会等の場を活用し、事例や作成状況の共有を行う	継続実施			市町村に計画作成の講習会に参加を促すとともに、必要な情報提供を行い計画作成を促進する	継続実施	継続実施	R7年度	継続実施	継続実施	継続実施	全ての要配慮者利用施設において計画が作成できる よう支援	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施
・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	タイムライン検討会を通じて情報共有	R5年度			大規模災害時の減災対策協議会に関する情報を市町村の高齢者福祉部局に対して情報提供を行っている	R1年度 ～	個別避難計画に関する説明会の開催(年4回)	R4年度	市包括支援センターと連携し、小地域ケア会議等での助言、情報共有を実施	R5年度	関係部署間での情報共有の実施	R5年度	個別避難計画等の取組を通じて、福祉部局との連携を取り始めている	～R5年度	複数の地区で個別避難計画の作成を実施。	R5年度 ～	
	今後の予定	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施	個別避難計画に関する説明会の開催	継続実施	継続実施	継続実施	個別避難計画作成に向けた推進体制を構築予定	R6年度 ～	引き続き実施	継続実施	計画作成地区の拡大、個別避難計画作成に向けた庁内協働体制を構築	継続実施	継続実施
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	ハザードマップポータルサイトにて洪水に係るリスク情報を公開中	継続実施			おかもやま県統合型GISにより、防災情報の周知に努めている ハザードマップポータルサイトを活用し市町村のハザードマップ周知に努めている	H28年度 ～	WEB版ハザードマップの普及・利用促進	R4年度 ～	市ホームページからリンクを継続	R5年度	HPへの市ハザードマップ・岡山県GISリンクの掲載	R3年度	実施済み	H30年度	市ホームページに県のホームページへのリンクを追加	R3年度	
	今後の予定	継続実施	継続実施			防災情報の周知について、積極的な広報に努める 市町村へハザードマップの電子化とポータルサイトへのリンク記載を呼びかける	継続実施	防災情報の周知について積極的な広報に努める WEB版ハザードマップ機能向上(クリック時にメッシュ深を表示)	継続実施	継続実施	継続実施	市ハザードマップ更新後、データの更新	継続実施	未定	R5年度 ～	継続実施	継続実施	
・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況																	
	今後の予定																	

2)ソフト対策の主な取り組み (1)浸り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み

■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等														
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、危険シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況													
	今後の予定													
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(両山県管理区域)	実施状況													
	今後の予定													
・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R5年度			未実施	R3以降	
	今後の予定			未定	未定			未定	未定			広域的な避難の検討	R4以降	
・避難場所等の有効性の検証や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまごまちごとハザードマップ整備	実施状況			未実施	未定			想定最大規模のハザードマップ(洪水・土砂)を作成し、全戸配布。町ホームページにて公表。	R4年度			浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備し全戸に配布、また町のHPにも掲載	R4年度	
	今後の予定			未定	未定			ハザードマップ(洪水・土砂)の更新、全戸配布、町ホームページでの公表	未定			浸水区域、土砂災害区域の見直し結果を反映したハザードマップの整備	R8以降	
・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進(全対象施設の避難確保計画作成の達成)	実施状況	要配慮者利用施設の指定避難確保計画の作成を促進	R4年度	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を実施	H29年度～			ハザードマップの活用方法の啓蒙・周知 防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を促進 防災計画に定められている施設(7施設)について、作成を完了 避難確保計画の見直し、訓練の促進	R8年度 R2年度 R3年度 R4年度			防災計画に定められている施設について、資料提供並びに助言を行い全ての施設で避難確保計画の作成を行い、過時見直しを行っている	R5～	
	今後の予定	継続実施	R4年度～	全て完了するまで実施	継続実施			避難確保計画の見直し、訓練の促進	継続実施			訓練実施の啓発	R4～	
・共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)	実施状況	自主防災組織、民生委員等の地域の避難支援者と連携し、個別避難計画を作成。	R6年度			要配慮者の個別避難計画作成について、町社会福祉協議会と連携継続	R3年度	要配慮者の個別避難計画について、福祉部局と作成に向けた協議・検討を行った 福祉部局の支援を得て個別避難計画の作り方を一部地区に対し説明	R4年度 R6年度	R5年度	避難行動要支援者名簿の共有	毎年度	福祉事務所・社協と連携し、個別避難計画の策定を進めている。	R3～
	今後の予定	継続実施	継続実施		継続実施		R6年度 半定 R8年度 半定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況	市ホームページからリンクを追加	R3年度	未実施	R4年度			町ホームページからリンクを継続	R2年度～	R2年度			想定最大規模掲載の防災マップを更新 町ホームページに情報HPのリンク Web版ハザードマップの整備	R3年度
	今後の予定	継続実施	継続実施	ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	～R6年度			継続	継続実施	継続実施	継続実施		継続実施	継続実施
・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況							内水浸水想定区域図の作成	R5年度				内水排水用のポンプの管理を地元の自治会等へ管理委託し、維持管理に合わせ訓練を行っている	R4年度～
	今後の予定							ハザードマップ(洪水・土砂)への反映を検討	R3年度～				継続実施	継続実施

■情報の伝達・発信																		
・避難指示の発令に際したタイムラインの精度向上	実施状況	水系一体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	継続実施	各自自治体の作成支援	H28年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成するよう周知	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施	R1年度	タイムラインの精度向上	R5年度	未実施	R6年度	タイムラインの精度向上	継続実施	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協働でタイムラインを作成している	継続実施	
	今後の予定	PDCAサイクルにより改善	継続実施	PDCAサイクルにより改善	継続実施	水害タイムラインへの反映を考慮して市町村の避難勧告型タイムラインの充実を呼びかける	～R3年度	タイムラインの精度向上	継続実施	継続実施	継続実施	タイムラインの精度向上検討	客観的な判断基準等を定めた避難判断伝達のマニュアルの整備	R7年度～	避難勧告等発令のガイドラインの見直し	継続実施	早めの避難情報の発令に備える避難所の早期開設 河川監視等の報告を災害対策本部会議で共有し、避難情報の発令の判断材料とする	継続実施
・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	水系一体のタイムラインに拡充済	R元年度	吉井川水害タイムラインの運用・改善	～R42年度 H28年度	水系一体の自治体も参加する体制に変更	R1年度	吉井川水害タイムラインの運用	R5年度	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	吉井川・旭川水害タイムライン検討会に参加	R1年度～	
	今後の予定	PDCAサイクルにより改善	継続実施	PDCAサイクルにより改善	継続実施	継続実施	継続実施	関係機関との連携強化	継続実施	継続実施	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	今後も関係機関との連携を積極的に検討していく	継続実施	
・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	令和5年5月27日に令和5年度吉井川総合水防演習を実施(岡山河川事務所長、和気町長、岡山地方気象台長によるホットライン)	R5年度	未実施	R6年度	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害対応訓練を実施した	R1年度～	岡山市総合防災訓練を実施(年1回)(R6年度は台風のため中止)	継続実施	未実施	R5年度	備前市総合防災訓練を実施	R6年度	未実施(今年度の市総合防災訓練は地震想定で実施) 岡山県水害対応訓練に参加	R5年度	岡山県水害特別防災訓練に参加して風水害に関する園上訓練を実施 赤磐市総合防災訓練実施	H30年度 R1年度 R4年度 R5年度 R6年度 R8年度	
	今後の予定	未定	未定	今後も訓練があれば積極的に参加	継続実施	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	継続実施	継続実施	未定	備前市総合防災訓練を実施	継続実施	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R6年度	赤磐市総合防災訓練実施	継続実施	継続実施	
・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の提供開始及びメッシュ情報の充実(地域に渡る危険の地図をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況	水害リスクライン及び川の防災情報による水位情報の提供、氾濫開始相対水位の提供	R5年度	警報等における危険度の色分け表示 情報提供メッシュ情報の充実化	H29年度	水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川) R2.8旭川の県管理区間(大臣管理区間上流端～旭川ダム下流)を洪水予報河川に指定 第4回岡山県水害特別防災訓練(2025.5.16)において、全市町村に洪水予報河川の基準水位の見直しを依頼し、 岡山県水害特別防災訓練(2025.5.16)において、全市町村に洪水予報河川の基準水位の見直しを依頼し、 高梁川水系小田川の基準水位の見直しを検討(R5)	～R6年度 ～R2年度		継続実施									
	今後の予定	継続実施	継続実施	未定	継続実施	現行基準水位の見直しを引き続き検討 洪水予報河川、水位周知河川の新規指定を検討	継続実施		継続実施									
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況	災害対策基本法の改正に伴う新たな避難情報及び6段階の水位予報を加えた洪水予報発令及び発表形式の見直しの実施	見直し済	洪水警報、注意報の基準変更と、洪水予報の細目協定及び実施要領の改正	R3年度	令和元年度、水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知様式に警報レベル相当や水位状況のポンチ絵を追加するなど見直しを行った 課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する	R1年度～		継続実施									
	今後の予定	必要に応じて見直しを行う	継続実施	防災気象情報に関する検討会ワーキンググループによる、防災気象情報の体系整理に伴う洪水等に関する名称変更を含めた情報の整理	継続実施	現在の取り組みを継続	継続実施		継続実施									
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	構築済		H30年度出水期前にホットラインを構築、R1年度出水期前に内容を拡充してきており、対象河川について、ホットラインによる情報提供を行っている	～R6年度 ～H30年度	ホットライン構築済み	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	R1年度	ホットライン構築済	R1年度		
	今後の予定	継続実施	継続実施		今後も引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型洪水情報発信の実施	R2年度	危険度の高まりのプッシュ型サービスを5つの民間事業者と協力で実施	R元年度	登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信	R1年度	防災メールの普及を推進 LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	随時、市災害情報メールへの登録の呼び掛けを実施するとともに、発信手段を増やした	R5年度	登録型防災メール、スマホアプリの普及啓発実施済み	R2年度	実施済み	H28年度～	出前講座など、地区住民を対象に登録型防災メールの普及啓発実施	H28年度～	
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災情報メールや防災アプリの登録者数を増やす取組を引き続き実施する	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	防災アプリの導入を検討	R6年度 R7年度		
・水位計やライブカメラの情報リアルタイムで提供	実施状況	危機管理型水位計(3水系で32箇所)や簡易型河川監視カメラ(3水系で94箇所)に情報をリアルタイムで提供中	R2年度		水位計を185箇所、河川監視カメラを77箇所設置し、「おかやま防災ポータル」等で、水位・河川監視カメラ画像などの情報を提供	～R5年度								実施済み	H28年度～			
	今後の予定	継続実施	継続実施		更なる増設については、水防活動や避難判断等において必要性が生じれば検討を行う	継続実施								引き続き実施	継続実施			
・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況	岡山河川事務所公式Twitterを開設	R元年度															
	今後の予定	継続的な情報発信	継続実施															
・SNSの活用	実施状況	Twitterを活用した防災情報発信	R2年度	未実施	R3年度	防災気象情報等をX(旧ツイッター)を活用して広く配信	H22年度 ～R5年度	LINE、Twitter、Facebookを活用した防災情報の伝達	R4年度	市Facebook・LINEにて災害情報を配信	R5年度	防災情報を市公式LINEで発信	不明		防災情報を市公式LINEで発信	R6年度		
	今後の予定	継続的な情報発信	継続実施	方針が決まれば積極的に活用	継続実施	現在の取組を継続	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施		継続実施	継続実施		
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況	R元年から運用開始。	継続実施															
	今後の予定	気象庁危険度分布と併せし、直轄河川管理区間部分のリスクライン表示等を行う。	R4年度															

■情報の伝達・発信															
・避難指示の発令に着目したタイムラインの精度向上	実施状況	台風接近等に合わせその都度検証し作成	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している	H30年度～	風水害に関するタイムラインを作成済タイムラインの精度向上	～R3年度	台風接近等に合わせ作成	R1年度～	台風タイムラインの作成(10号、19号)(R1.8、R1.10)	R1年度	作成済み	R1年度	市町村の避難指示の発令等に着目した関係者一体型タイムライン(防災行動計画)策定済	R3年度～
	今後の予定	継続実施	継続実施	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	～R5年度	継続実施	継続実施	継続実施	作成継続、精度の向上	継続実施	精度向上に向けて改良予定	継続	安全な避難確保が行えるようなタイムラインへの見直しを実施	継続実施	
・多機関連携型タイムラインの確実な運用及び有効活用	実施状況	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	実施済み	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R3年度～	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度～	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	吉井川水害タイムラインの運用	R2年度	水害タイムラインの作成に向け、検討を進めた	R4年度～
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	R3年度～	継続実施	継続運用	継続	継続運用	継続実施	継続運用	継続	継続実施	継続実施	
・多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	水害を想定した防災訓練の実施	R1年度	岡山県の実施する水害特別訓練へ参加	H30年度～		岡山県水害対応訓練へ参加 町総合防災訓練において水害を含む想定	R4年度 R6年度						美咲町防災訓練の実施	R5年度
	今後の予定	現在、隔年で防災訓練を実施しているが、そのなかで水害を想定した防災訓練の実施	数年おきに実施	未定	～R5年度		継続 町総合防災訓練において水害を想定	継続実施						各種訓練への参加及び訓練	継続実施
・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報の提供開始及びメッシュ情報の充実化(沿岸に迫る危険の位置をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況														
	今後の予定														
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予報や水位通知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況														
	今後の予定														
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの適切な運用)	実施状況	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	R2年度～R3年度	ホットライン構築済	H30年度～	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	ホットラインは構築済	H30年度～
	今後の予定	継続実施	毎年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信	実施状況	登録型防災メール、アプリの活用	R1年度	実施済み	H29年度～	登録制メール配信事業の啓発継続 登録制メール配信システム強化見直し ライン配信追加	R1年度～ R2年度 R3年度	登録型防災メール・アプリの普及啓発継続	R2年度～					登録制メールの普及 エリアメール登録	R2年度
	今後の予定	普及促進	毎年度	スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の配信	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施					継続実施及び再検討	継続
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	雨量計10台、河川監視カメラ19台 市HP、アプリ、CATVデータ放送で配信	R1年度			雨量等観測データ及び河川監視カメラ映像を町ホームページ、有線テレビで公開 現在河川監視カメラ10台稼働中 河川監視カメラ機器メンテナンス 河川監視カメラ機器メンテナンス継続	～R3年度	町内2箇所河川監視カメラを設置しHPで映像公開	R2年度～						
	今後の予定	継続実施	毎年度				R3年度～	継続実施	継続実施						
・メディア連携分科会を設置し、メディア連携施策のフォローアップ	実施状況														
	今後の予定														
・SNSの活用	実施状況			町Facebook・Twitterにて災害情報を配信	R3年度	ラインによる防災、避難情報の通知	～R3年度	未実施	R4年度	情報企画部と連携を図る。 町広報紙等で防災情報の発信。	R5年度			美咲町公式ラインによる防災情報のお知らせを行う	R5年度
	今後の予定	LINEによる防災情報の配信	R7年度	継続実施	継続実施	継続実施	未定	未定	継続実施。	継続実施				継続実施	
・水害リスクラインによる情報発信	実施状況														
	今後の予定														

■防災教育や防災知識の普及																					
水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災に関する講習会や出前講座を複数実施	R2年度	自治体や自主防災組織などへの講演を複数回行った	H28年度	地域での研修等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施	H29年度	—	—	自主防災組織や各種団体の会合において出前講座等を実施	R5年度	水防災に関する防災訓練、出前講座を活用した講習会の開催実施済み、特に自主避難体制の強化を図る	R2年度	水防災に係る出前講座を市内各地で実施	～R5年度	出前講座を実施 非常食の体験試食を実施	R1年度	～			
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、地域での研修等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施	—	—	継続実施	継続実施	水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催を継続	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き出前講座などで市民に対して啓発を行う	継続実施	—			
住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進	実施状況	マイタイムライン検討ツール「逃げキッド」を作成済	R3年度	—	—	講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行った	R1年度	—	—	R4年度	津山市版マイタイムラインを作成し、市ホームページ掲載、防災講話等で普及促進	R5年度	ハザードマップにてマイタイムラインの取組み紹介	R4年度	出前講座等を利用し、普及啓発活動を行う	～R5年度	出前講座等において啓発	R6年度	～		
	今後の予定	意図達成につなげるため、講習会等を実施	継続実施	—	—	講習会や広報の機会を捉えて、マイタイムラインの紹介を行う	継続実施	—	—	継続実施	継続実施	マイタイムラインの取組み普及	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続	継続実施	～			
教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	小学生を対象とした防災教育を実施	R2年度	高校・中学校及び小学校で発達段階に合わせた防災講演を複数回行った	H28年度	講習会の低・中・高学年それぞれの発達段階に合わせた「防災ワークシート」を作成して県内小学校に配布し防災教育の促進に努めた 防災ワークシートは電子データ化し、県のホームページで公開	R1年度	—	—	R4年度	市内小学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R5年度	幼稚園、保育園、小学生、中学生を対象とした防災訓練への参加済み	R2年度	教職員を対象とした防災研修の実施、小学生を対象とした防災授業の実施	H29年度～ ～R4年度	キラ安全フェスティバルを開催し、気象台にも参加いただき、気象台ブースにて啓発を行っていた 防災授業を小学校で実施	R1年度	～		
	今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災ワークシートの電子データをホームページに公開	継続実施	継続実施	—	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	防災授業を引き続き実施	継続実施	～		
指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	小学生を対象とした防災カードゲームの普及及び防災動画の提供	R3年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	今後の予定	継続実施	継続実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
効果的な「水防災意識社会」構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H28年度	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った 令和3年度7月に「ももたろうの防災」の改訂を行い、住民向け広報を強化した	H30年度	—	—	R4年度	広報誌への特集記事の掲載を実施 防災出前講座等により、防災知識の普及啓発活動を行った	R5年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R2年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	H29年度～ ～R4年度	地区防災マップを作成済み 広報への特集記事を掲載 出前講座を実施	H29年度	～		
	今後の予定	継続実施	継続実施	吉井川総合水防演習(5/27)の展示ブースにてパネル展示やパンフレット配布予定	R5年度	引き続きあらゆる機会を捉え積極的な広報に努める	継続実施	—	—	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	引き続き実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	～		
災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	—	—	—	—	防災教育教材「おかやま備災手帳」を作成し、地元小・中学生や高校生を対象に備災出前講座等を実施	R5年度	—	—	R2年度	平成30年7月豪雨災害記録誌を作成 パネル作成及び岡山市防災マニュアルに「岡山市の被害の記録」を掲載し、各イベント・出前講座で使用	R2年度	防災訓練等で過去の災害を紹介	R5年度	未実施	R6年度	市総合防災訓練への参加を出前講座等を通じて啓発している	継続実施	出前講座で過去の災害を紹介	R3年度	～
	今後の予定	—	—	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	—	継続実施	継続実施	継続実施	未定	—	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	～		
不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	事業者からの問い合わせに対応	R3年度	—	—	問い合わせ等があれば対応	R5年度	—	—	R4年度	HPIに掲載し情報提供	R5年度	市HPへの市ハザードマップ・岡山県GIS掲載	R4年度	問い合わせがあった場合、随時情報提供を行っている	～5年度	水防マップの情報を提供	R3年度	～		
	今後の予定	継続実施	継続実施	—	—	継続実施	継続実施	継続実施	—	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	～		
2)ソフト対策の主な取り組み ②水害特性に応じた効果的な水防活動																					
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化																					
水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	令和3年出水期前に水防団と合同で重要水防箇所を点検を実施済	R2年度	未実施	R6年度	—	—	—	—	R1年度	—	—	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度	～		
	今後の予定	継続実施	継続実施	実施があれば積極的に参加	継続実施	—	—	—	—	継続実施	—	—	河川事務所が実施する共同点検に参加	～R2年度	未定	R5年度	未定	～R6年度	～		
関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(R3年度～)水防訓練の実施	実施状況	令和5年5月27日に令和5年度吉井川総合水防演習を開催(令和5年5月20日に水防技術講習会開催)	R5年度	未実施	R6年度	関係機関の連携による風水害対応訓練(同上・実働訓練)および水防技術向上に資する岡山県水防技術講習会を実施した	R2年度	—	—	未実施	R5年度	実施済み	H28年度	未実施(今年度の市総合防災訓練は地震想定で実施) 岡山県水害対応訓練に参加	R5年度	市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施 赤磐市総合防災訓練を実施	H30年度	～			
	今後の予定	水防技術講習会を開催予定	R6年度	水防演習や各自治体の訓練に積極的に参加	継続実施	出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図るとともに、水防技術講習会を実施し、水防に関する技術力の向上を促進する。	継続実施	—	—	R6年度	訓練実施予定	R6年度	関係機関が行う水防訓練へ参加	継続実施	瀬戸内市総合防災訓練を実施予定	R6年度	市の職員を中心に資機材を使った水防訓練を実施	R7年度	～		
水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事を掲載済	継続実施	—	—	—	—	—	—	H30年度	実施済み	R5年度	実施済み	H28年度	～	実施済み	～R4年度	実施済み	H28年度	～	
	今後の予定	継続実施	継続実施	—	—	—	—	—	—	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	引き続き実施	継続実施	市ホームページや広報誌等で募集していく	継続実施	～		
市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達等の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	災害拠点病院の洪水対策検討会にオブザーバーとして参加し、技術的助言を行った	R2年度	—	—	市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成や災害時の受援体制の整備を働きかけた	H29年度	—	—	R3年度	Jアラートとの自動連携を継続している 無線配布及びメールへの登録呼びかけも継続している 自家発電機やバッテリーを整備済	R5年度	市新庁舎建設に伴い耐水化、非常用発電等の整備を実施	R2年度	未実施	～R4年度	庁舎改修に伴い非常用電源設備、止水板の設置を行った。	R6年度	～		
	今後の予定	引き続き、技術的助言を行う	継続実施	—	—	引き続き業務継続計画(BCP)の作成、受援体制の整備を働きかける	継続実施	—	—	継続実施	実施済み	—	機能を継続的に確保	継続実施	未定	R6年度	～	～	～		
地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	地域の建設業者による水防支援体制構築済	継続実施	—	—	—	—	—	—	H30年度	岡山県建設業協会津山支部等と協定締結	H26年度	地域の建設業協会と災害時の協定を締結している	H21年度	地域の様々な業者等と災害時の協定を締結(R5年度は6件)	～R5年度	赤磐市建設業協会と協定締結 赤磐市総合防災訓練を実施し、協定に基づき水防訓練、道路啓蒙訓練を実施	H18年度	～		
	今後の予定	継続実施	継続実施	—	—	—	—	—	—	継続実施	関係部局と内容について確認し、必要があれば協定の修正を行う	R6年度	関係部局と協議し、内容の見直し等は都度行う	継続実施	必要に応じて見直し、新規締結等を行う	継続実施	赤磐市総合防災訓練の中で実施予定	R8年度	～		
2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																					
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施																					
排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、水害発生を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	作成した排水計画を被災協で共有し、関係市町に送付済	R2年度	—	—	H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された	R4年度	—	—	R4年度	消防団と連携し、東西の班ごとに分かれて操作訓練を	R5年度	未実施	～R4年度	未実施	～R5年度	未実施	R3年度	～		
	今後の予定	作成した排水計画を基にした訓練の実施	継続実施	—	—	必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める	継続実施	—	—	継続実施	継続実施	未定	未定	未定	未定	未定	未定	～R5年度	～		

■防災教育や防災知識の普及															
・水防に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展 出前講座を実施	H29年度～	防災イベントの開催	～R5年度	消防団と連携し、中学校で防災に関する講座を実施 自主防災組織を対象に地区防災計画の取り組みに関する講習会を実施	R3年度～			自治会、ケア会議等での出前講座などを実施	R4年度～		
	今後の予定	継続実施	毎年度	実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施		
・住民一人一人の避難計画(マイタイムライン)の普及促進	実施状況			出前講座などを実施	R3年度～	ハザードマップを更新し合わせて掲載 各戸別配布、ホームページ等により周知し避難計画 作成を助長	R5年度	ハザードマップ(洪水・土砂)に掲載 ホームページ、広報紙掲載等により周知し、作成を促進 説明会を開催し、普及を促進	R4年度			地域自主防災組織を中心に啓発を実施	R3～		
	今後の予定			継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施	継続実施		
・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	実施済み	R1年度	小中学校で防災に関する授業を実施済み	H29年度～	教員を対象に(1回) 小学校等出張防災講座の開催	R1年度～ R2年度 R3年度	教育部署と連携し教職員への防災研修	R2年度 R3年度			中学校区での危険箇所の把握及び非常時の訓練など 小学生を対象とした、消防団による防災教育などを実施	R3年度～		
	今後の予定	継続実施	毎年度	引き続き実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施	随時		
・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況														
	今後の予定														
・効果的な「水防意識社会」構築策に役立つ広報や資料の作成	実施状況	出前講座、広報紙へ特集記事の掲載 CATVで啓発	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	H29年度～	出張出前講座の実施	～R5年度	ポスター掲示	R1年度～	ポスター掲示	R2年度	ポスター掲示	R2年度	ポスターの掲示 広報紙での啓もう活動	R4年度～
	今後の予定	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ポスター掲示	継続実施	継続実施	継続
・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	防災講話等で過去の災害を紹介	R1年度	町内イベントに防災ブースを出展	H29年度～	過去の災害箇所の石碑を自然災害伝承碑に登録	R1年度 R2年度	自主防災組織等と連携した訓練実施	R4年度～	防災訓練の実施(R4.11) 水害記録簿の登録(三穂神社)	R4年度	令和6年度地震を想定した西栗倉村総合防災訓練を実施	R5年度	美咲町防災訓練にて、内水排水対策にて、ゲートポンプの稼働訓練の実施など、吉井川沿いの内水排水対策を実施	R4年度
	今後の予定	継続実施	毎年度	水辺の各校等での展示を検討	R2年度～	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	防災訓練の実施(R5.11)	R5年度	総合防災訓練を河川災害想定にするかは未定	未定	地域での防災訓練や学習会での地域での災害の継承を随時	継続
・不動産関連事業者への水害リスクの情報提供等	実施状況	事業者からの問い合わせに対応	R4年度	ハザードマップの提供	R3年度～	ハザードマップの提供	R3年度	事業者からの問い合わせに対応 ハザードマップ(HP)の案内	R4年度～	問い合わせ等があった場合にハザードマップ等を手交。	R5年度	未実施	R4年度	ハザードマップの提供	R4年度
	今後の予定	未定	未定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内不動産関連事業者がないため未定	未定	継続実施	継続
2)ソフト対策の主な取り組み ②水害特性に応じた効果的な水防活動															
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化															
・水防団(水防活動を担う消防団を含む)等が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	実施状況			河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～	定期的に消防団による町内巡回に合わせて巡視を実施	R4年度								
	今後の予定			河川事務所が実施する共同点検に参加	～R4年度	継続実施	継続実施								
・関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(R3年度～)実働水防訓練の実施	実施状況	隔年で総合防災訓練を開催	隔年	新型コロナウイルスの影響のため、未実施	R3年度	隔年で総合防災訓練を開催	未実施	地区防災計画策定に当たり地区、消防団等と連携し 防災重点ため池等の確認、土のう作成訓練実施 未実施 総合防災訓練を実施	R2年度 R3年度 R4年度	未実施	R1年度	岡山県水害対応訓練を地元の飯岡地区と連携し実施(R4) 原田第2区自治会と連携し美咲町防災訓練を実施(R5)	R4年度～		
	今後の予定	総合防災訓練を実施予定	R7年度	実施予定	継続実施	吉井川総合水防演習に参加	継続実施	継続実施	継続実施	新型コロナウイルス感染症5類移行により実施しない。	—	継続実施	継続		
・水防活動の担い手となる水防団(水防活動を担う消防団を含む)員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	実施状況	実施済み	R1年度	実施済み	H28年度～			ポスター掲示	R2年度～	消防団と連携 水防月間ポスターの掲示等による広報を実施	R1年度		消防団員による募集活動	継続	
	今後の予定	主に団員や学校を通じて広報	継続実施	今後もホームページや広報誌等で募集を継続する	継続実施	継続	継続	継続	継続	継続実施	継続実施		継続実施	継続	
・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達のための充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況			役場本庁舎への非常用発電設備設置(72時間、ディーゼル方式)	R3年度			職員情報共有アプリの導入・運用 非常用発電機は設置済みであるが、72時間稼働には未対応	R4年度～				非常用発電機の整備	R3年度	
	今後の予定			実施済み	—			庁舎の長寿命化に合わせて非常用発電機の72時間対応化を検討	～R7年度				維持管理の啓発	継続実施	
・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会実作支部等と協定締結	H19年度	建設業協会と協定を締結	H22年度	建設業協会との協定	～R5年度	岡山県建設業協会実作支部との間で協定締結し支援体制構築済み	R2年度	岡山県建設業協会実作支部、三共リース津山営業所との間で協定締結し支援体制構築済み	R1年度		建設業協会等との防災協定	継続	
	今後の予定	今後も引き続き、新たな支援団体があれば協議、検討していく	継続実施	必要に応じて見直しを行う	継続実施	継続実施	継続実施	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—	R2年度までに実施済みのため、今後は実施予定なし	—		継続実施	継続	
2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策															
■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施															
・排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、水損排水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	未実施	R5年度	未実施	未定			水防団(消防団)による重要水防箇所の確認及び点検を実施	R4年度～				美咲町防災訓練にて、藤原排水機場の閉鎖訓練を実施(R4) 地元自治会による訓練(通年)	R4年度～	
	今後の予定	未定	未定	未定	未定			継続	継続実施				地元自治会による訓練を継続実施	継続	